

令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

那珂市教育委員会

全国学力・学習状況調査とは

○ 調査の目的

- ⇒ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ⇒ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ⇒ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○ 調査の対象とする児童生徒

- ⇒ 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年

○ 教科に関する調査

- ⇒ 国語、算数・数学、理科

○ 調査事項・内容

【教科に関する調査(国語、算数・数学)】

- ⇒ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ⇒ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】

- ⇒ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜教科に関する現状＞

小学校国語の成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題
- ▲ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題

小学校算数の成果と課題

- 簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができるかどうかをみる問題
- 角の大きさについて理解しているかどうかをみる問題
- ▲ 示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができるかどうかをみる問題
- ◆ 「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる問題

令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜教科に関する現状＞

中学校国語の成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題
- ◇ 自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる問題
- ▲ 読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる問題
- ◆ 文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる問題 かいしん どれも○会心の出来です。×改心、改新

中学校数学の成果と課題

- 素数の意味を理解しているかどうかをみる問題
- 一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができるかどうかをみる問題
- ▲ 証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができるかどうかをみる問題

令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜教科に関する現状＞

小学校理科の成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる問題
- ◆ 水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができるかどうかをみる問題

中学校理科の成果と課題

- ◇ 露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる問題
- ◇ 科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる問題。
- ▲ 塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる問題

令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜小学校：教科に関する現状＞

○ 各分野ごとの問題の領域

⇒ 各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

【国語】

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」
- ・「情報の扱い方に関する事項」
- ・「我が国の言語文化に関する事項」
- ・「話すこと・聞くこと」
- ・「書くこと」
- ・「読むこと」

【算数】

- ・「数と計算」
- ・「図形」
- ・「変化と関係」
- ・「データの活用」

【理科】

- ・「エネルギー」を柱とする領域
- ・「粒子」を柱とする領域
- ・「生命」を柱とする領域
- ・「地球」を柱とする領域

○ 問題形式

⇒ 選択式、短答式、記述式の3種類が出題されている。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜小学校：教科に関する現状＞

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【国語における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

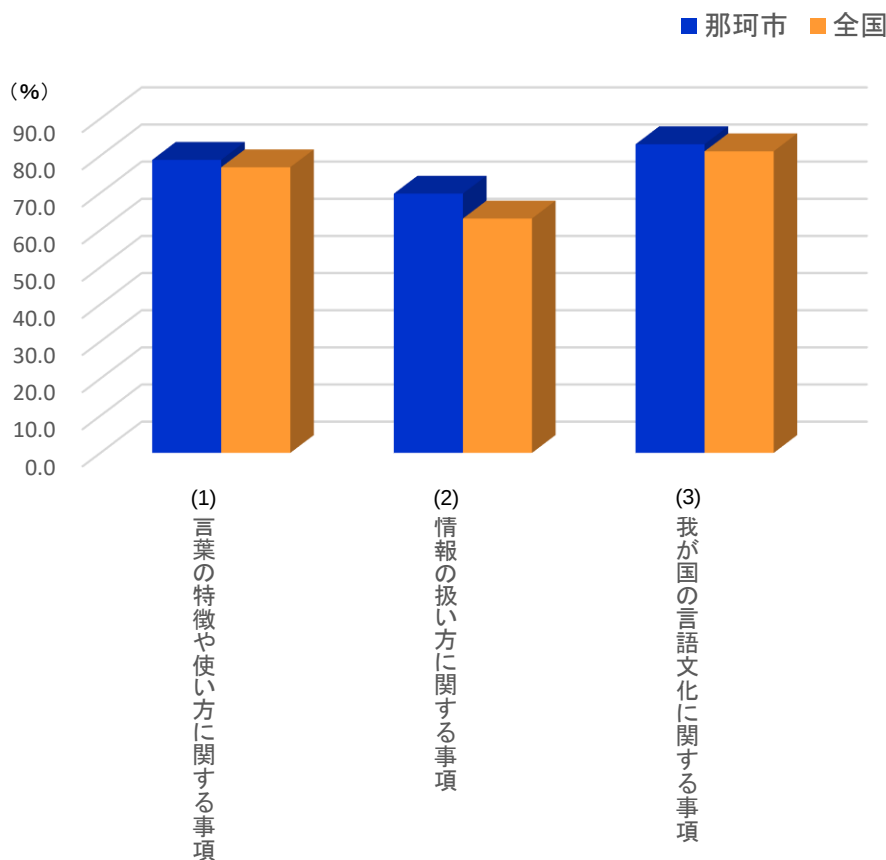
- ◇ 「情報の扱い方に関する事項」の領域で成果が見られる。
- ◆ 「話すこと・聞くこと」に課題が見られる。

小学校

国語

(設問数14問)

【国語】学習指導要領の知識及び技能における 全国との平均正答率の差



【参考】

実際の問題は、国立教育政策研究所

<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>をご覧ください。

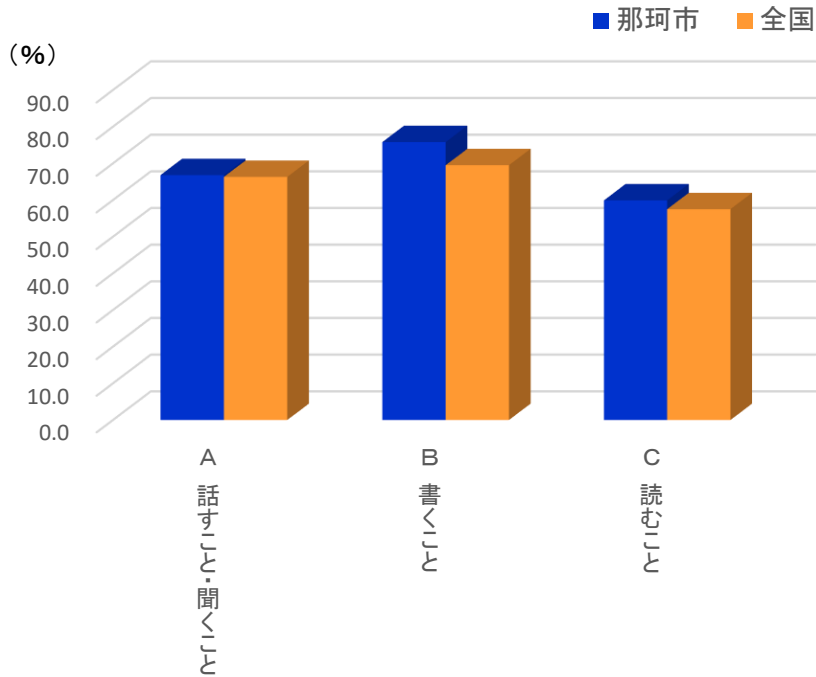
令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜小学校：教科に関する現状＞

小学校

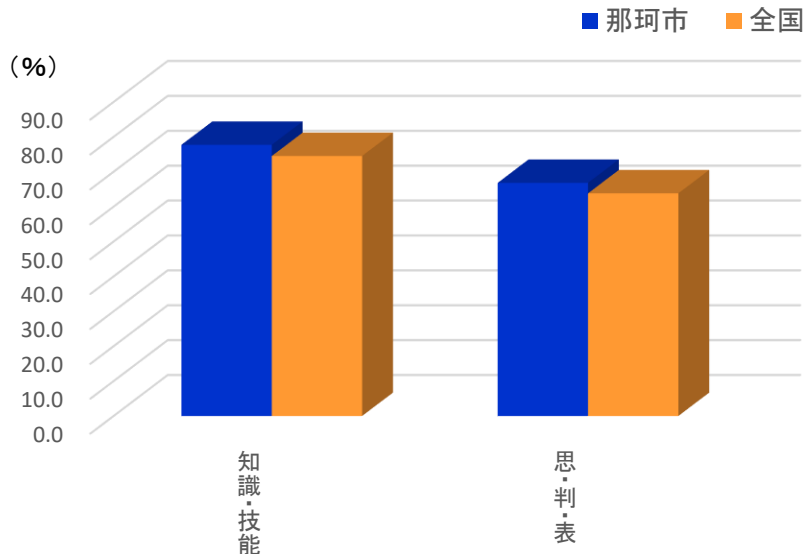
国語

(設問数14問)

【国語】学習指導要領の思考力、判断力、表現力に
おける全国との平均正答率の差



【国語】評価の観点ごとの全国との
平均正答率の差



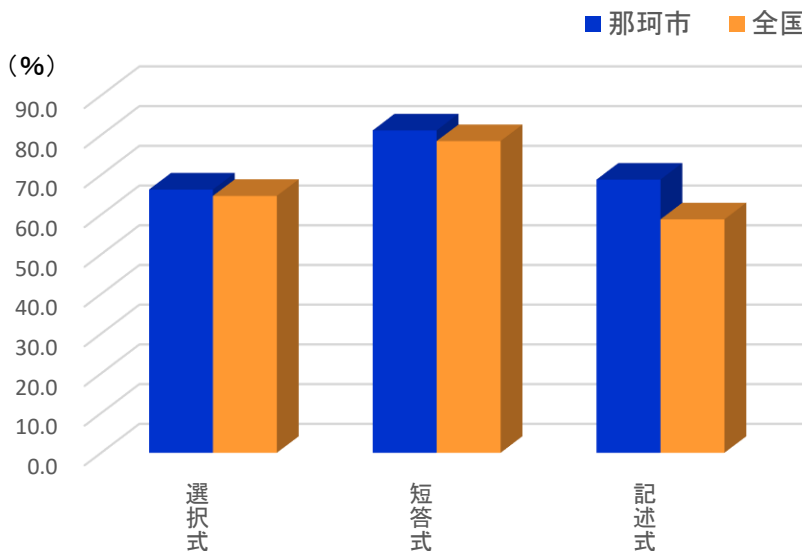
令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜小学校：教科に関する現状＞

小学校

国語

(設問数14問)

【国語】問題形式ごとの全国との
平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>をご覧ください。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜小学校：教科に関する現状＞

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【算数における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

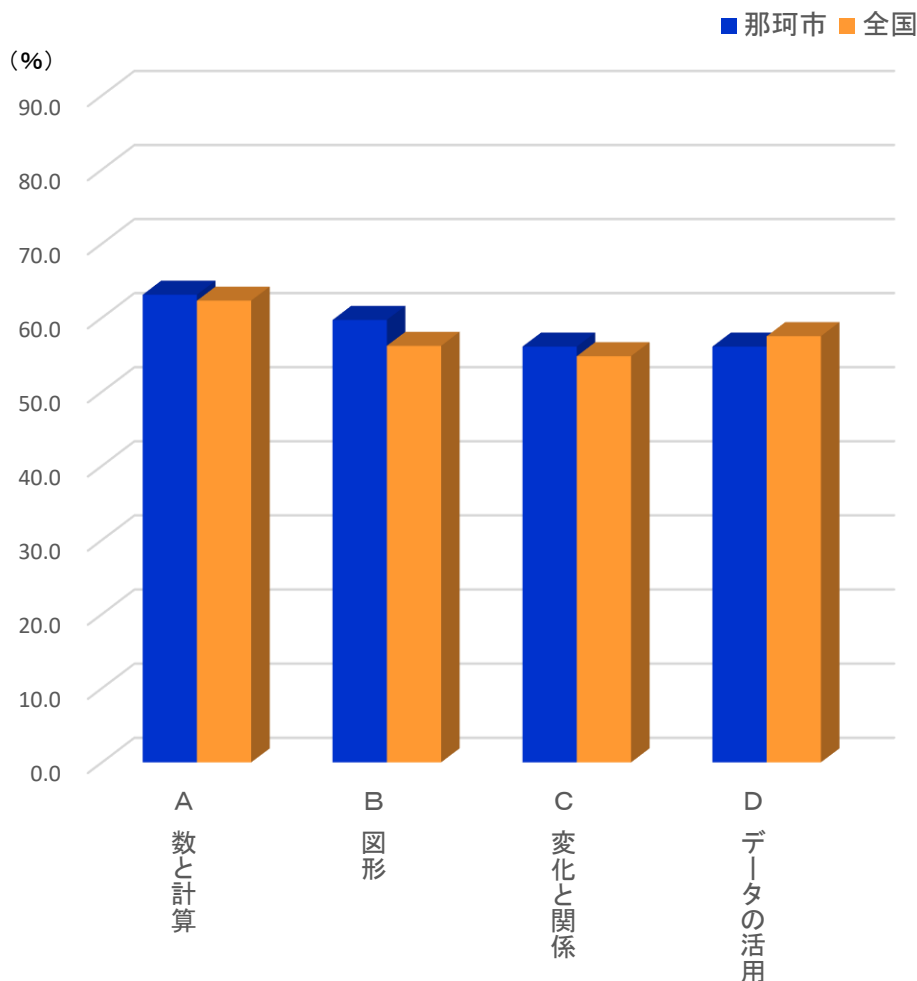
- ◇ 「数と計算」「図形」の領域で国の平均をやや上回る。
- ◆ 「データの活用」の領域で課題が見られる。

小学校

算数

(設問数16問)

【算数】学習指導要領の領域における 全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>をご覧ください。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜小学校：教科に関する現状＞

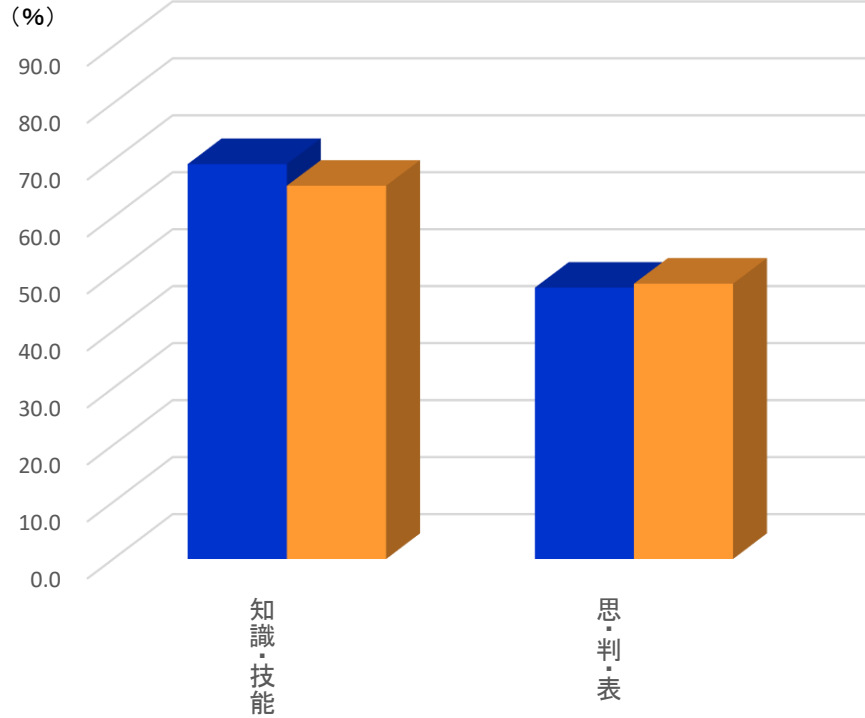
小学校

算数

(設問数16問)

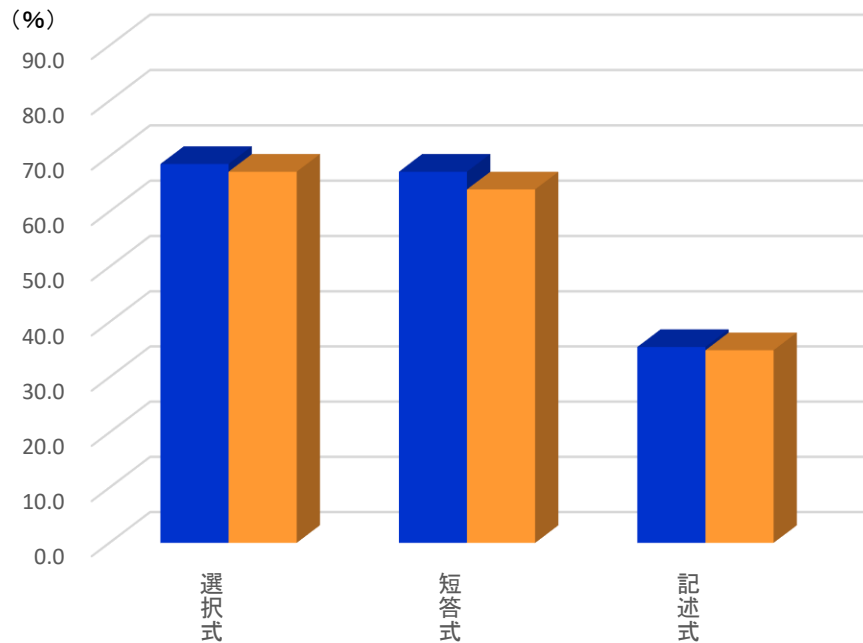
【算数】評価の観点における
全国との平均正答率の差

■ 那珂市 ■ 全国



【算数】問題形式における
全国との平均正答率の差

■ 那珂市 ■ 全国



令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜小学校：教科に関する現状＞

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【理科における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

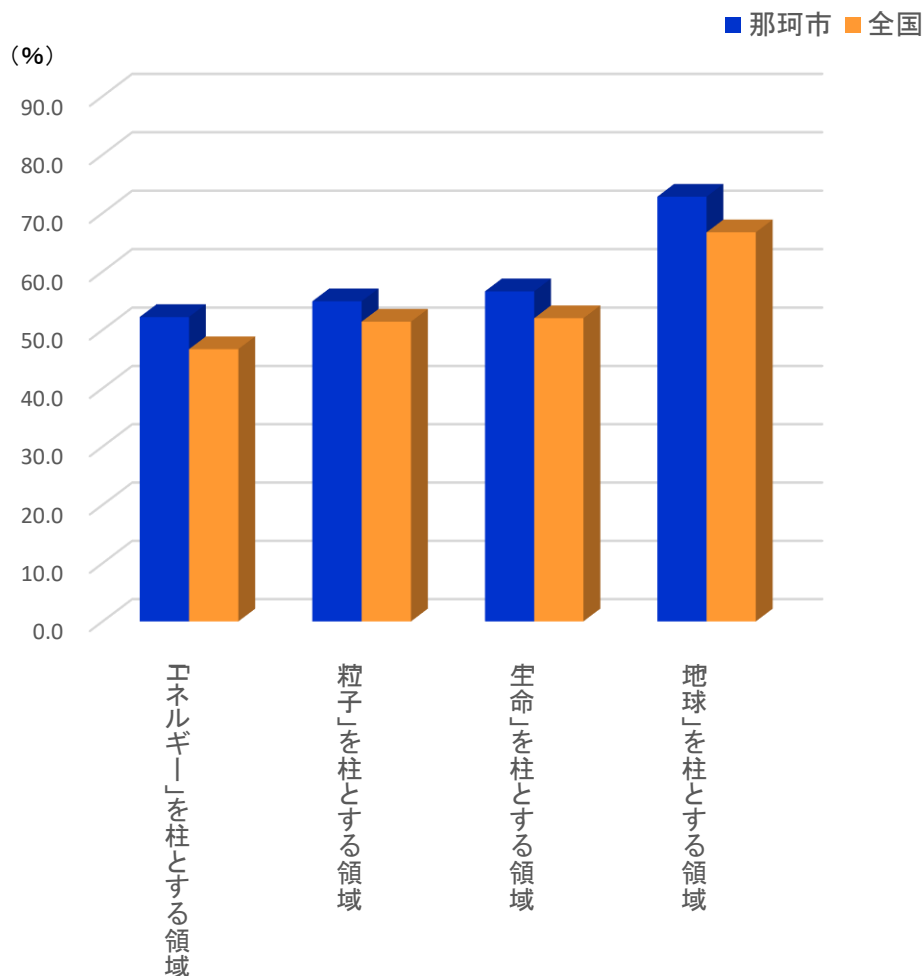
- すべての領域で国の平均を上回る。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点で国の平均を上回る。

小学校

理科

(設問数17問)

【理科】学習指導要領の領域における 全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>をご覧ください。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜小学校：教科に関する現状＞

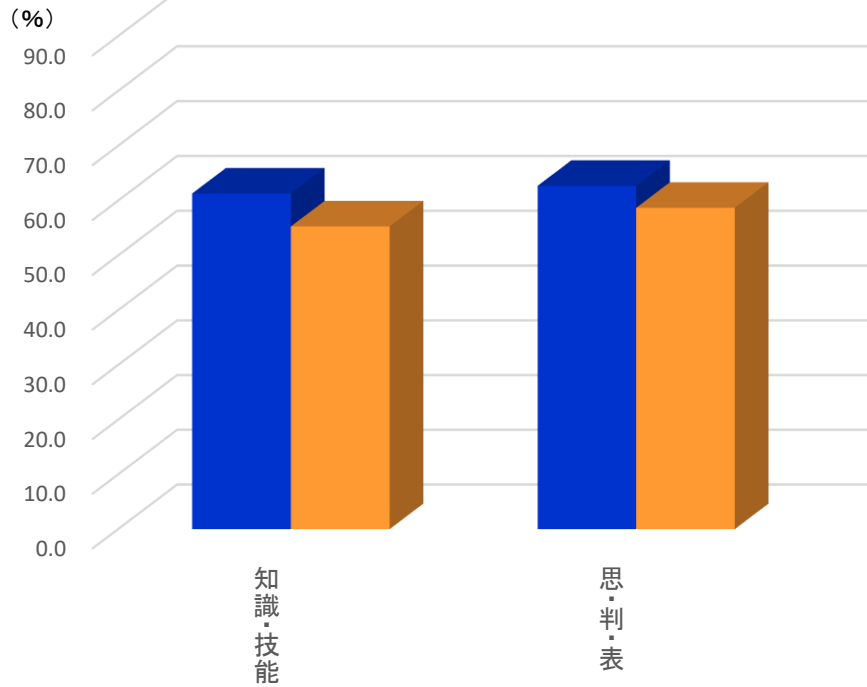
小学校

理科

(設問数17問)

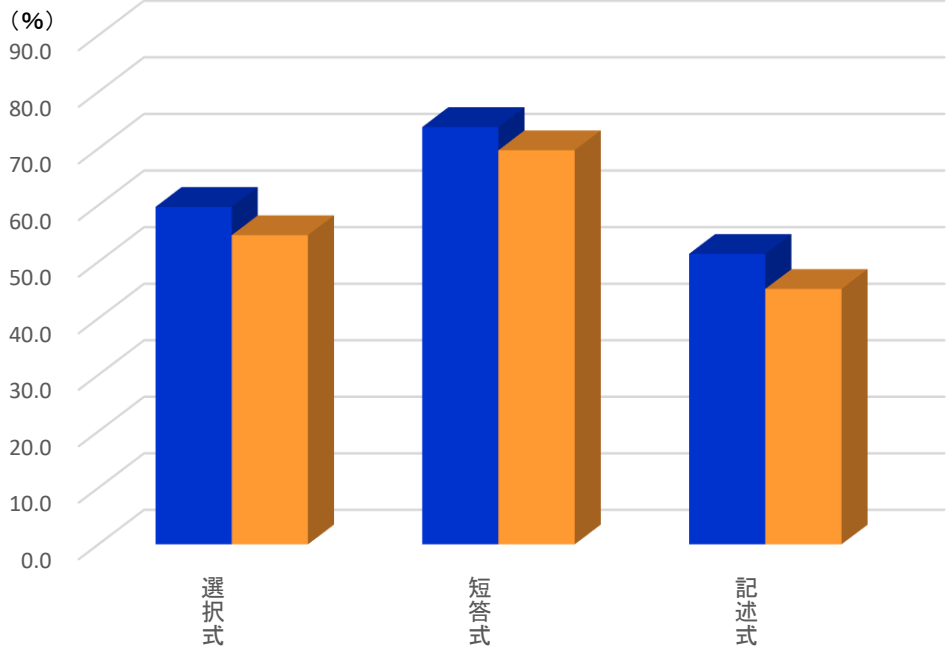
【理科】評価の観点における
全国との平均正答率の差

■ 那珂市 ■ 全国



【理科】問題形式における
全国との平均正答率の差

■ 那珂市 ■ 全国



令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について＜中学校：教科に関する現状＞

○ 各分野ごとの問題の領域

⇒ 各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

【国語】

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」
- ・「話すこと・聞くこと」
- ・「書くこと」
- ・「読むこと」

【数学】

- ・「数と式」
- ・「図形」
- ・「関数」
- ・「データの活用」

【理科】

- ・「エネルギー」を柱とする領域
- ・「粒子」を柱とする領域
- ・「生命」を柱とする領域
- ・「地球」を柱とする領域

○ 問題形式

⇒ 選択式、短答式、記述式の3種類が出題されている。

令和7年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<中学校:教科に関する現状>

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

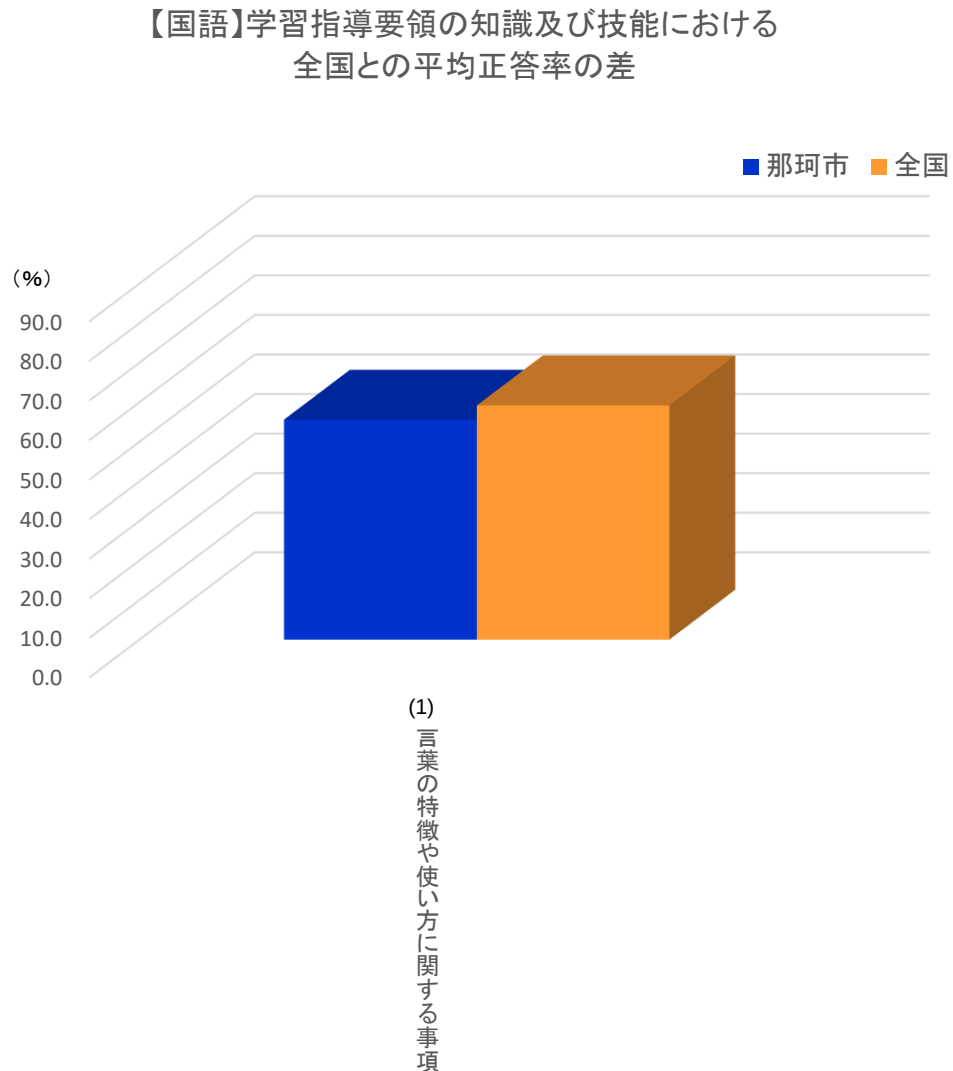
【国語における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

- ◇ 「読むこと」の領域で国の平均をやや上回る。
- ◆ 「我が国の言語文化に関する事項」の領域、「短答式」の問題形式で課題が見られる。

中学校

国語

(設問数14問)



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>をご覧ください。

令和7年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

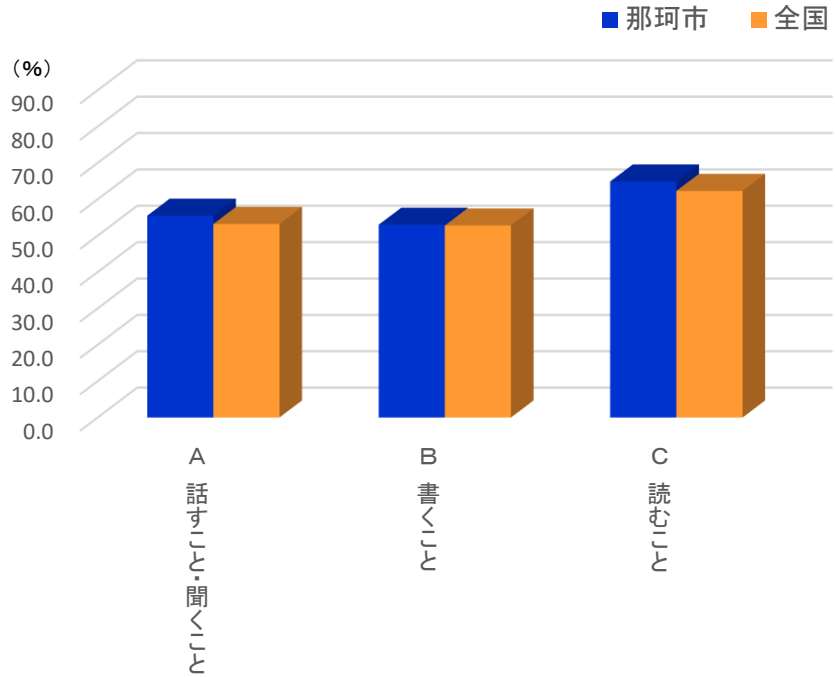
<中学校:教科に関する現状>

中学校

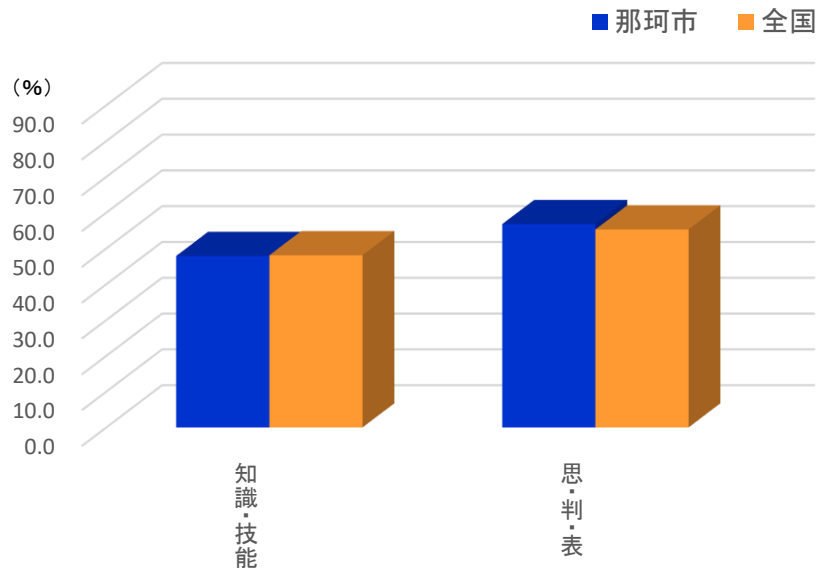
国語

(設問数14問)

【国語】学習指導要領の思考力、判断力、表現力における全国との平均正答率の差



【国語】評価の観点ごとの全国との平均正答率の差



令和7年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

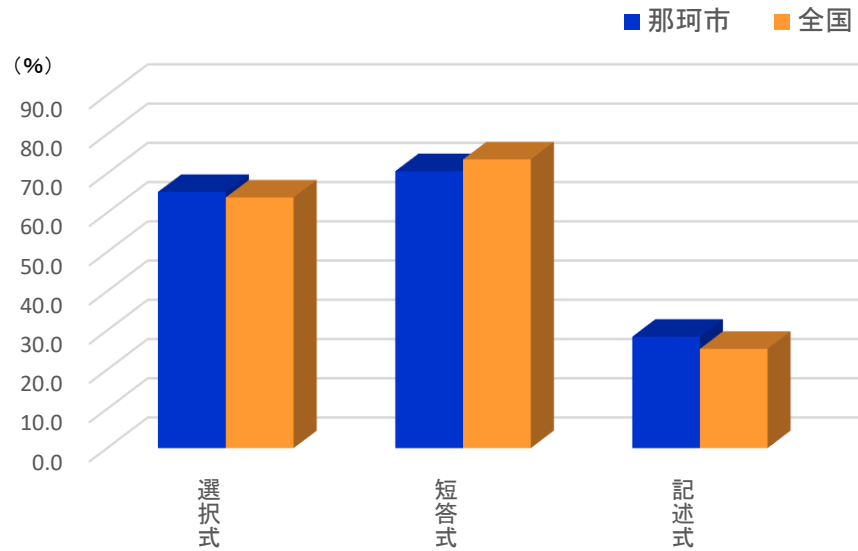
<中学校:教科に関する現状>

中学校

国語

(設問数14問)

【国語】問題形式ごとの全国との
平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>をご覧ください。

令和7年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<中学校:教科に関する現状>

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【数学における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

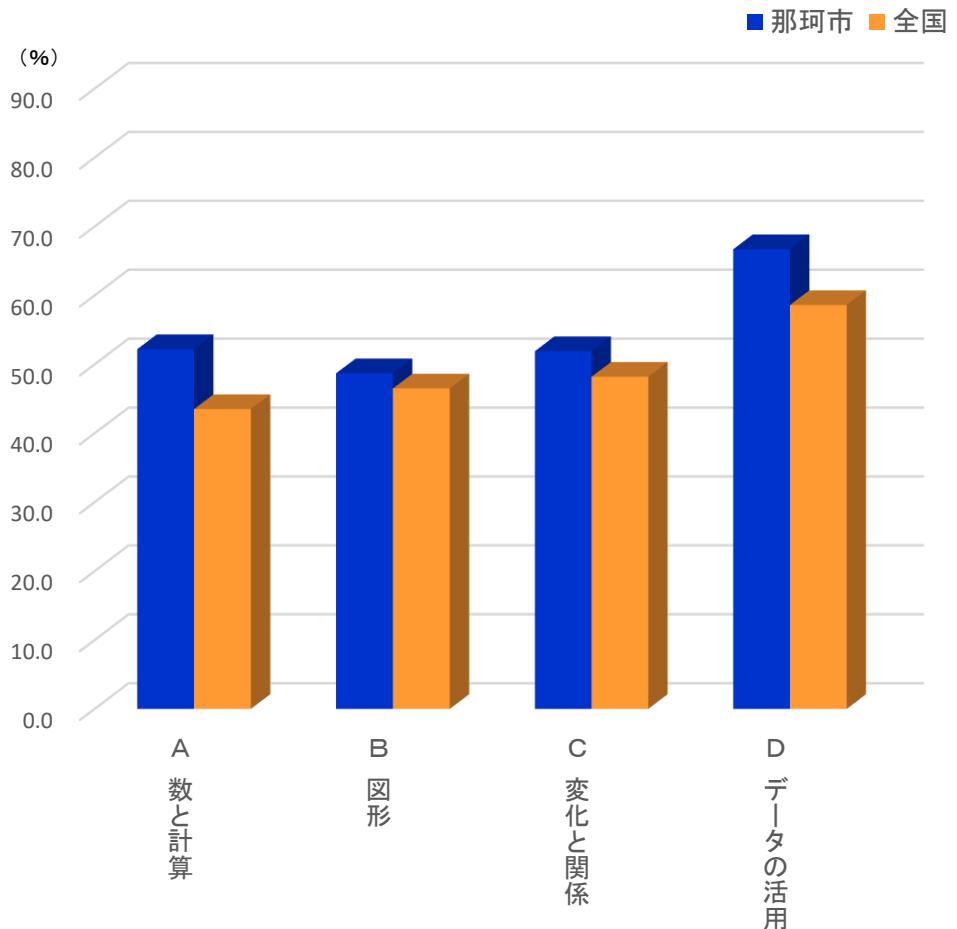
- 「データの活用」の領域で国の平均を大きく上回る。
- ◆ 「図形」の領域と「記述式」の問題形式で、国の平均を上回るが、課題が見られる。

中学校

数学

(設問数15問)

【数学】学習指導要領の領域における 全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>をご覧ください。

令和7年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<中学校:教科に関する現状>

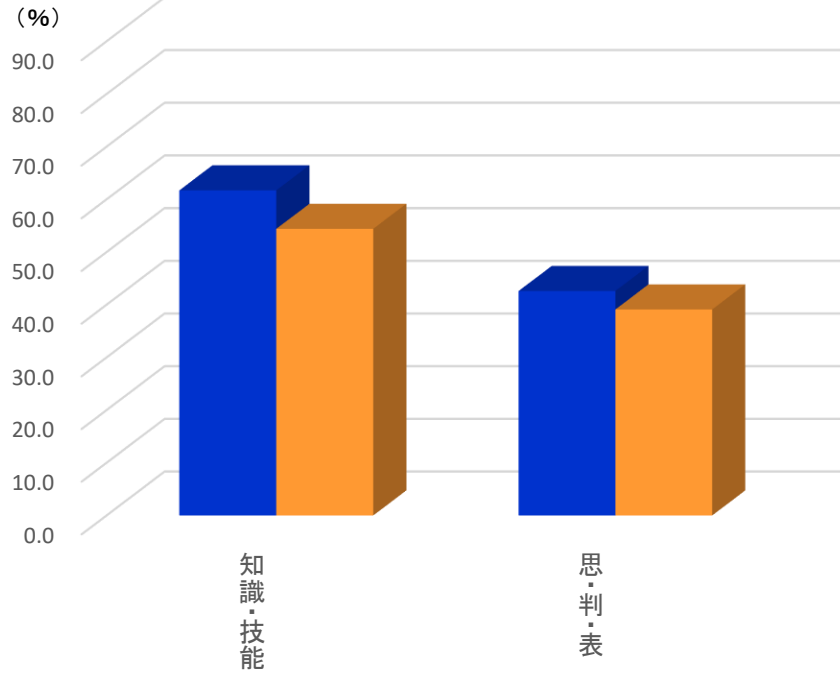
中学校

数学

(設問数15問)

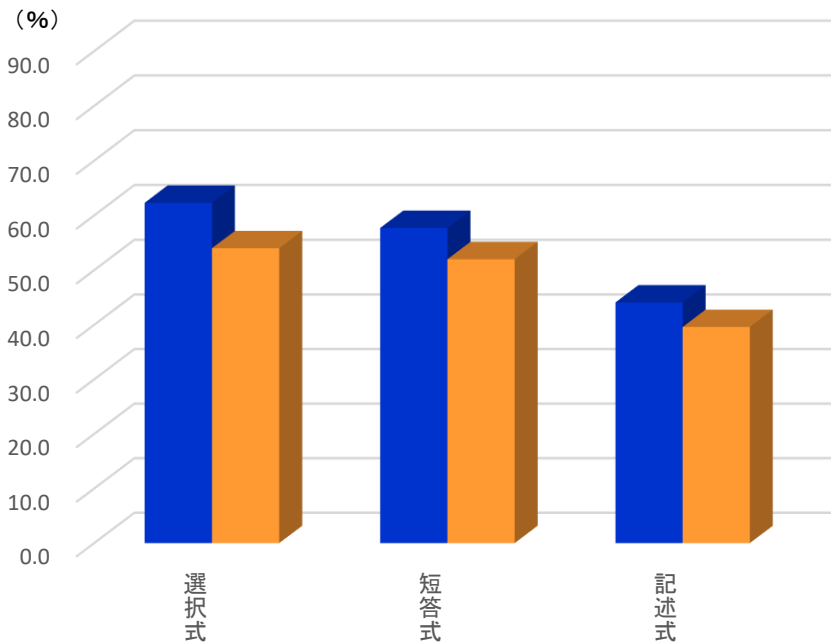
【数学】評価の観点における
全国との平均正答率の差

■ 那珂市 ■ 全国



【数学】問題形式における
全国との平均正答率の差

■ 那珂市 ■ 全国



令和7年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<中学校:教科に関する現状>

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【理科における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

◇ 「記述式」の問題形式で成果が見られる。

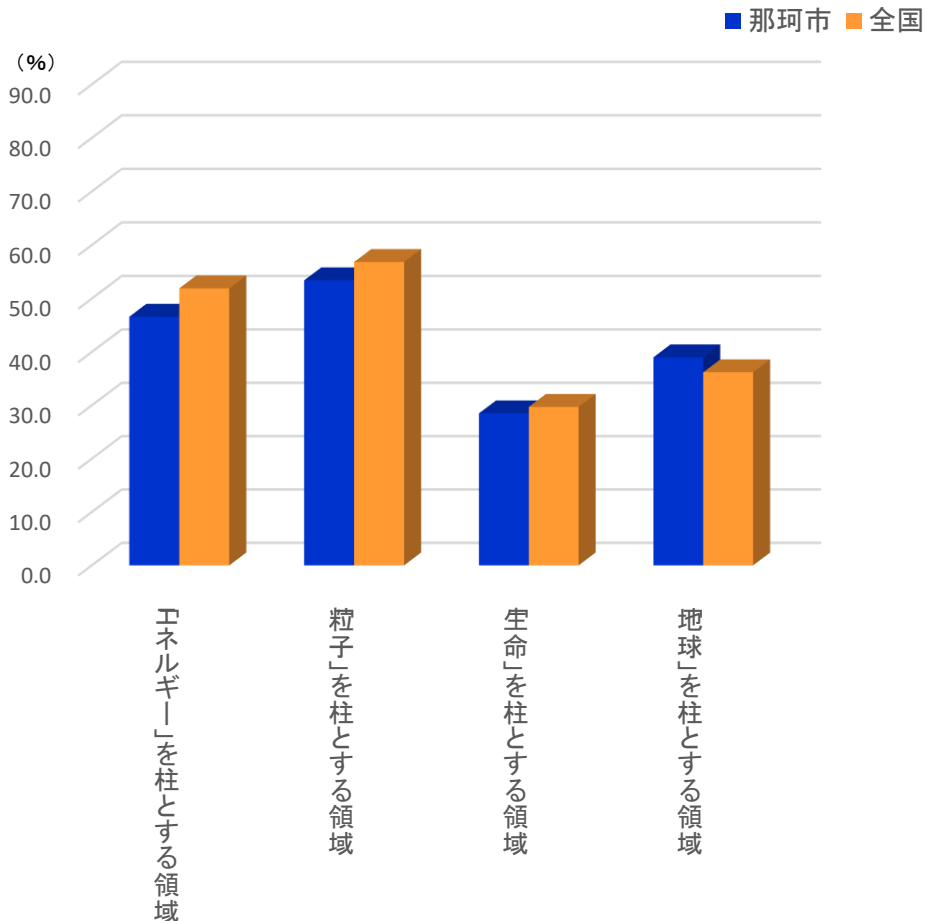
▲ 「エネルギー」を柱とする領域と、「選択式」の問題形式に特に課題が見られる。

中学校

理科

(公開問題6問)

【理科】学習指導要領の領域における
全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>をご覧ください。

令和7年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<中学校:教科に関する現状>

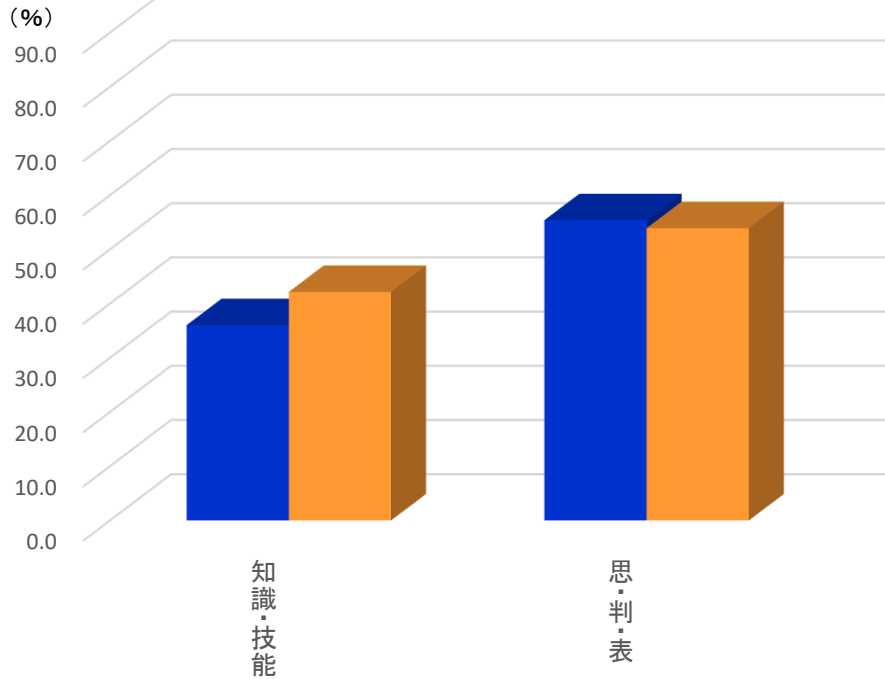
中学校

理科

(公開問題6問)

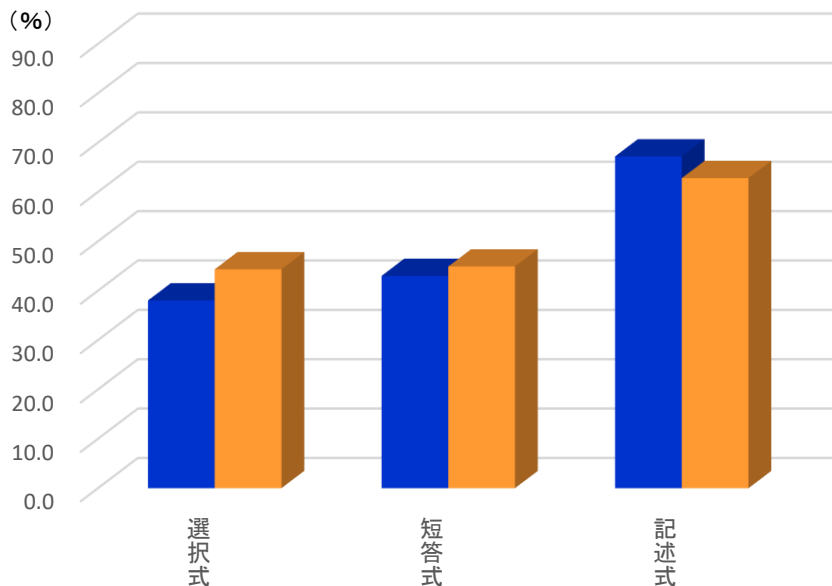
【理科】評価の観点における
全国との平均正答率の差

■ 那珂市 ■ 全国



【理科】問題形式における
全国との平均正答率の差

■ 那珂市 ■ 全国



令和7年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年386人、中学3年392人】>

◇基本的な生活習慣における全国との比較(参考:茨城県)

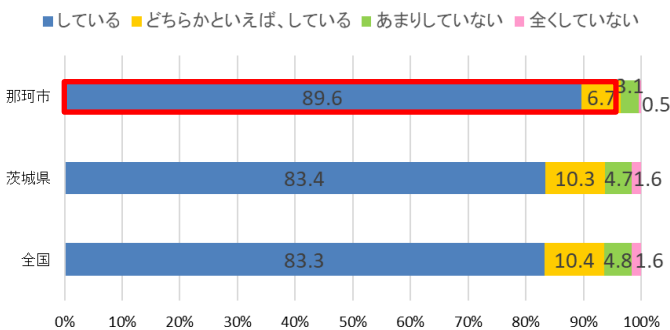
※「している」「どちらかといえば、している」の割合(%)で比較。

小学校

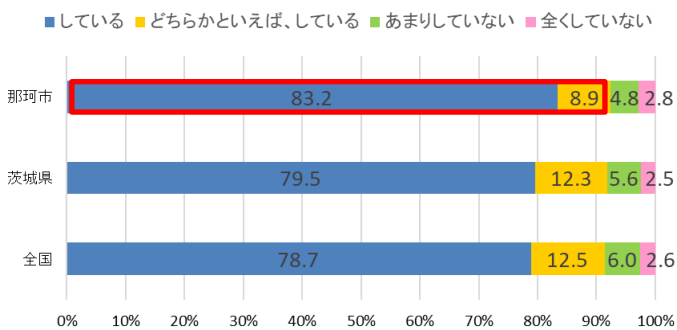
中学校

◇「朝食を毎日食べていますか。」については、全国と比較すると小学校は高く、中学校は同程度の傾向が見られる。

Q: 朝食を毎日食べていますか(小学校)

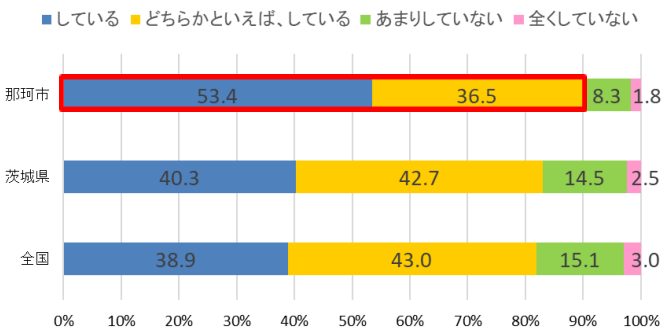


Q: 朝食を毎日食べていますか(中学校)

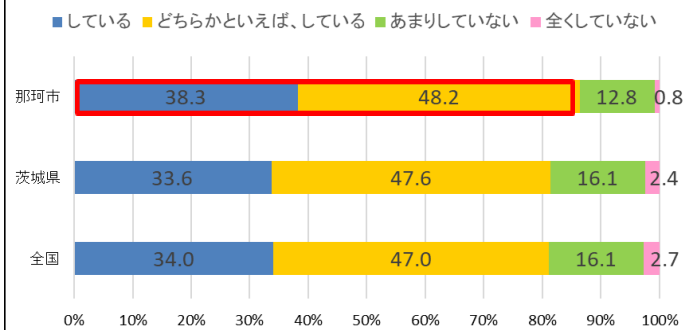


◇「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」については、全国と比較すると小中学校ともに、やや高い傾向が見られる。

Q: 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか(小学校)

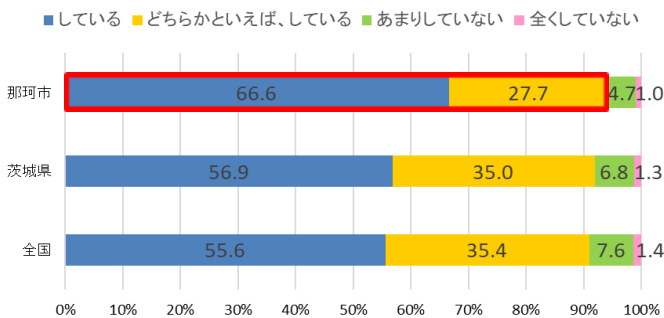


Q: 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか(中学校)

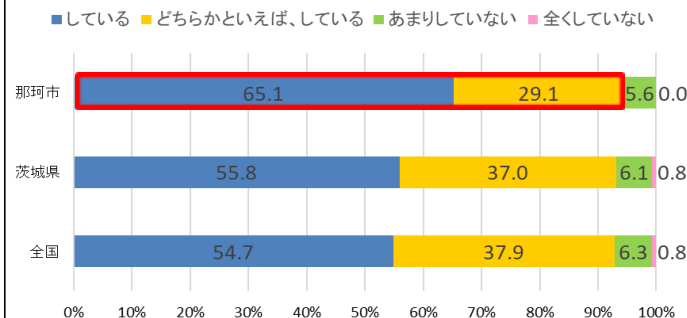


◇「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」については、全国と比較すると小中学校ともに、やや高い傾向が見られる。

Q: 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか(小学校)



Q: 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか(中学校)



令和7年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年386人、中学3年392人】>

◇自尊感情における全国との比較(参考:茨城県)

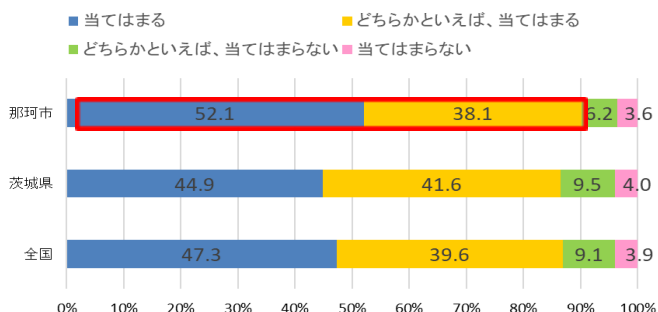
※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合(%)で比較。

小学校

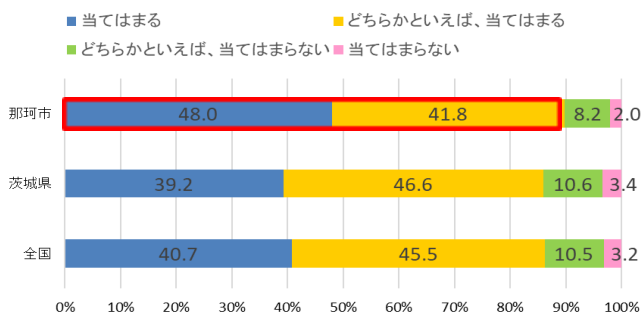
中学校

◇「自分には、よいところがあると思いますか。」については、全国と比較すると、小学校は高く、中学校はやや高い傾向が見られる。

Q: 自分には、よいところがあると思いますか(小学校)

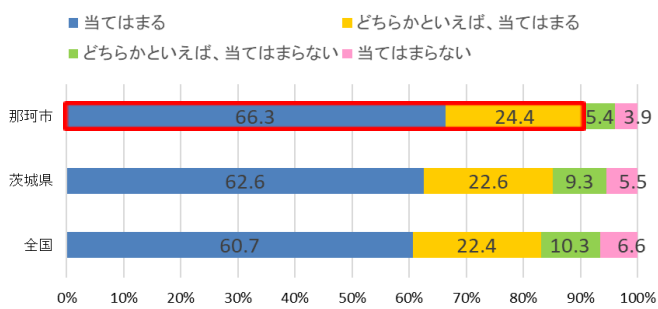


Q: 自分には、よいところがあると思いますか(中学校)

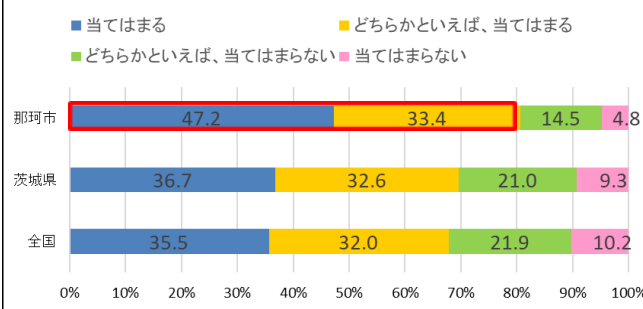


◇「将来の夢や目標を持っていますか。」については、全国と比較すると、小中学校ともに高い傾向が見られる。

Q: 将来の夢や目標を持っていますか(小学校)

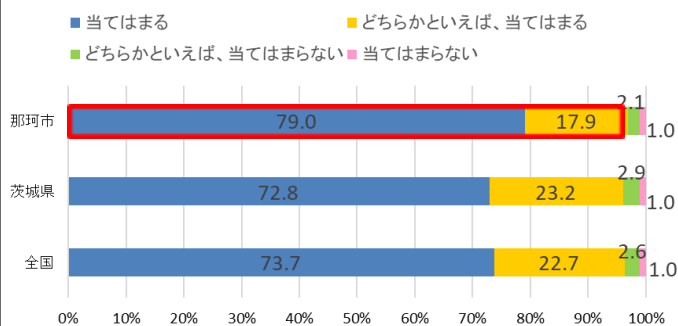


Q: 将来の夢や目標を持っていますか(中学校)

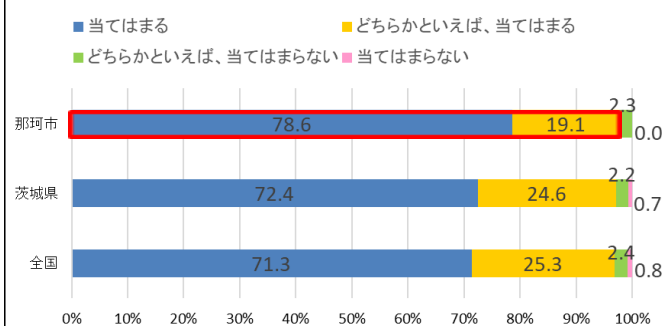


◇「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」については、全国と比較すると、小学校は同程度、中学校はやや高い傾向が見られる。

Q: 人の役に立つ人間になりたいと思いますか(小学校)



Q: 人の役に立つ人間になりたいと思いますか(中学校)



令和7年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年386人、中学3年392人】>

◇ICT機器を用いた学習における全国との比較(参考:茨城県)

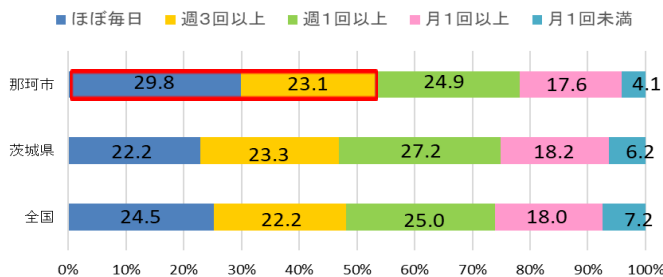
※上段:「ほぼ毎日」「週3回以上」の割合で比較。中下段:肯定的回答の占める割合(%)で比較。

小学校

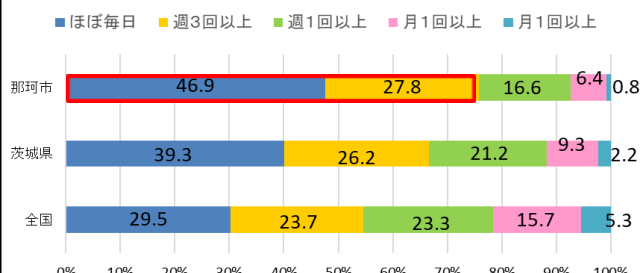
中学校

◇「5年生まで(※中学校は『1、2年生のとき』)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」については、全国と比較すると小中学校ともに、高い傾向が見られる。

Q: 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(小学校)

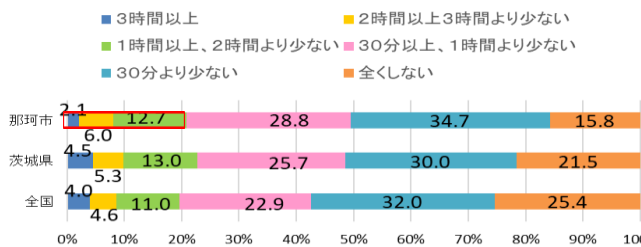


Q: 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(中学校)

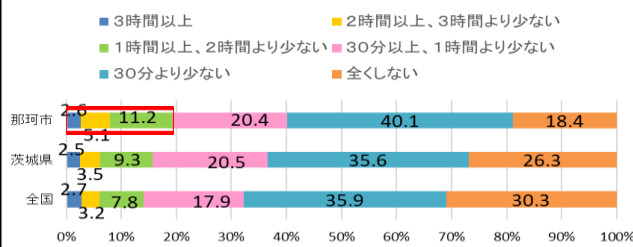


◇「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。」については、全国と比較すると、小学校は同程度、中学校でやや高い傾向が見られる。

Q: 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどを、勉強のために使っていますか(小学校)

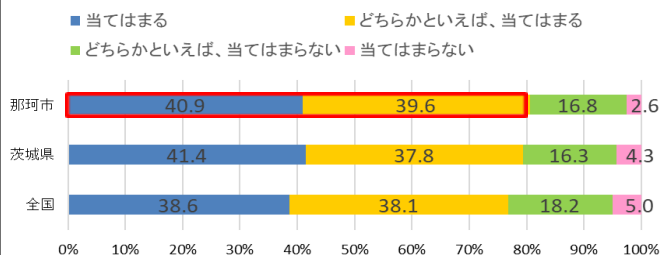


Q: 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどを、勉強のために使っていますか(中学校)

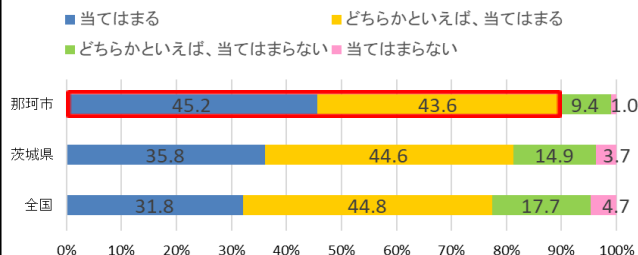


◇あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますかについては、全国と比較すると小学校はやや高く、中学校は高い傾向が見られる。

Q: あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか(小学校)



Q: あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか(中学校)



令和7年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の改善方策について

那珂市教育委員会

結果から見えてきた課題の改善方策について

○小中学校が継続して取り組むこと

- ◇全国、茨城県、那珂市の調査結果と自校の調査結果を比較・分析し、課題を明確にした上で授業改善を行う。
- ◇試行錯誤、アウトプット、自己決定の場面設定により、児童生徒が問いを発見し、解決していくことに重点を置いた、探究的に学べる授業を行う。
- ◇学習課題や、題材設定学習形態を工夫改善することで、児童生徒が主体的に学習課題へ取り組めるようにする。
- ◇授業や単元終末の振り返りの時間を大切にし、児童生徒が「何を学び、何ができるようになったか」「次の課題は何か」を確認できるようにする。
- ◇これまでの教育実践とGIGA端末を活用した実践の融合（ベストミックス）を図り、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させていくことで、児童生徒の資質・能力の確実な育成を図る。

今後の更なる学力向上に向けた改善方策について

○教育委員会から発信していくこと

- ◇小中一貫教育の特性を生かし、「学ぶ力」と学んだことを「生かす力」の習得を図る、児童生徒主体の授業づくりが実現できるように支援していく。
- ◇各種訪問指導や「学力向上研修会」「ICT活用研修会」等の研修会を通し、児童生徒が探究的に学べる授業づくりが実現できるように支援していく。
- ◇「指導室だより」やHP等を通して積極的に情報発信を行い、特色ある授業の実践例を市内で共有できるように支援していく。